



チャリティー公演「民踊としま唄へのいざない」が、11月30日にあしびの郷・ちなでありました。日本民踊研究会愛知県本部から100名を超える舞踊家が踊りを披露したほか、津軽三味線の名手千葉勝弘さんによる演奏もあり、数々の日本民謡が披露されました。

100名を超える舞踊家が来島



知名町遺族会（神川吉紀会長）主催の戦没者慰霊祭等が、11月13日にありました。このうち大山野営場で行われた平和の塔献花祭では、参加者が平和の塔に献花した後、集落ごとに戦没者の名前が彫られた碑を回りながら、殉国の英霊の遺徳をたたえていました。

殉国の英霊の遺徳をたたえ



第7回知名町・食の文化祭が、11月15日に知名町民体育館でありました。「食育・地産地消で健康長寿の町づくり」をテーマに、午前の第1部では沖縄からお招きしたシニア野菜ソムリエ（2011年認定）の徳元佳代子氏による「アンチエイジングに役立つ野菜の話～島野菜でおいしい健康生活

盛りだくさんの内容でにぎわう



～」と題した講演がありました。午後からの第2部は、高齢者向けの料理や我が家のおやつなどの試食のほか、田芋もち作りやきびジュース作り体験、さらには、上城小学校が栽培したさつまいもや漁協による鮮魚の販売など、盛りだくさんの内容で、会場は多いのにぎわっていました。



日本小学生バレーボール連盟主催による小学生バレーボール草の根研修会が、11月15日に知名小学校体育館でありました。この研修会は、離島等の子供たちや指導者に正しいバレーボールの技術、指導方法を会得する機会を持っていただくことなどを目的に開催されたもので、講師は同連

ユニークでわかりやすい練習



盟の副会長である工藤憲氏がつとめ、島内からスポーツ少年団等に所属する子供や指導者100名以上が参加しました。研修会では、タオルを使ったアタックのスイングの練習や頭に軍手を置いて正しい姿勢でレシーブをする練習など、ユニークでわかりやすい練習方法が紹介されました。